

ひたすら2コマで即墜！
とにかくイキまくる♡
過程なんて要らない
抜きに特化したエロ漫画！

FOR ADULT
R18
ONLY



♡アへ顔&仰け反り絶頂♡

2コマ即墜ち劇場

「本日はご指名いただき
ありがとうございます♡
今日は皆様の相手を
させていただきますので
よろしくお願いいたします♡」

「どうかこのやらしい
万年発情エロウサギに
皆様のおにんじんを
たっぷりお与えください♡」

「それでは……さっそく……♡
（あ……これ凄く……大きい……♡♡）」

「んっ♡んぼっ♡
この極太おちんちん♡
おいしいです♡
おちんぽミルクももっ♡
いっぱい飲ませてください♡」

「おいおい、これはおちんちん
じゃなくて おにんじんだろ♡」

「あっ♡申し訳ございません♡
私としたことがそんな間違いを♡
お客様の凄く大きくてえ♡」

「ほら、おにんじんの部分を
しごきながら種のとろも
しっかり舐めてくれよ♡」

「んっ♡はいっ♡んぼっ♡」

「んっ♡んぼっ♡
んっ♡んぼっ♡
んっ♡んぼっ♡

「んっ♡んぼっ♡
んっ♡んぼっ♡
んっ♡んぼっ♡

「んっ♡んぼっ♡
んっ♡んぼっ♡
んっ♡んぼっ♡

「新しい子連れてきたぜ
じゃあ自己紹介よろしくー♡」

「ほらほら、そんなに硬くならならいで
リラックスリラックス♡」

ドキ

ドキ

「はい…はじめまして
私、セーニヤと申します
今日は皆さんにたっぷりと
ご奉仕いたしますので
宜しく願います…♡」

トク

「はい次俺の番ねー」

「おおお♡ お♡♡♡」

「セーニヤちゃんイキすぎて
ひどいマヌケ面になってるわ♡」

ドク

ビビ

は

は

トロオー♡

トク

トク♡

加ク
加ク

「俺らの精子からっぽになるまで
腔内出しすっから覚悟しとけよ♡」
「頭ぶっとびすぎて聞「えてないだる」

「そんなもの欲しそうなのよ
顔でチンポ見るなよ
今日は二人ともたっぷり
種付けしてやるからよ♡」

ドキ

ドキ

キタマ♡

「おっ♡いきなり俺のチンポ
しゃぶってくれるの？
聖女セーニヤちゃんの即フェラ最高♡」

ドク

クク

クク

「すっげ締ーめ付け♡
俺の精子全部搾り取って
くれるなこのマン♡」

ドク

クク

「おいおい、膣内出し一発目で
どんだけイってるんだよ
まだ夜は長いんだから
しっかり頼むぜ二人とも♡」

ドロ

オ...

♡

ヒク

ブル

ブル

ブル

「JJ」なら誰も「JJ」ならから
思ひつきりハメまくってやるぜ♡

おら、お前は俺が相手に
してやるからJJしちゃいさ

トキ

トキ

ポヨ

トキ

「じゃあ俺は「JJ」ちもらっわ♡
ちつきから俺らのチンポ
ずっと欲しそつに見やがって
とんだ淫乱女だな♡」

トキ

「おっおおお…イクっ…!!
出すから全部飲めよっ!!」

「んっ♡んんんん♡♡♡
んっ…ヨクッ…ヨク…♡」

「おら…もっと腰振れ…
そんなんじやいつまだ経っても
おわらねえぞ♡」

「あああっ♡無理っ♡
またいつちやっ♡」

トキ

トキ

トキ

トキ

トキ

「もしかしてマルティナさんじゃん？
奇遇だね俺らも丁度暇だからさ
これから一緒に遊ぼうよ」

「あ……ここでそういうのは……
困るわ……」

「こんな水着きて俺らの事
誘ってるんでしょ
丁度そこに安宿あるから
少し休んでこうよ♡」

「今は仲間たちと一緒に来て……
だめ……よ……皆に見られちゃう」

「いらいからこっちいよ
俺らに無理やり連れ込まれたって
体裁が欲しいだけなんだろ
望み通り連れてってやるからよ」

ゴキッ
ゴキッ

グニッ

いぢぢ

モロッ

モロッ

ポロッ

ククッ
ククッ
ククッ

「んっ……♡んちゅ……♡
んぶう……♡んっ♡んぼっ♡」

「あーマルティナさん
チヨロすぎっしょ♡
もう3時間やりどおしだけで
お仲間さんたち待ってる
んじゃないの？」

「ま、強いっていつても
チンポの味覚えれば
女なんてこんなもん♡」

「んっ……ちんぽお……♡
もつと口にも……下にも……
ちようだい……♡」

「がつくなよ♡
いわれなくなつて
たつぷりくれてやるからよ♡」

ムワッ

「お姉さんたち二人なの？
俺らも丁度二人だから一緒に遊ぼうよ」

「私たちがクレイモラン出身で
こういってこるはじめてなんです
色々教えていただけませんか？」

「お、まじで？」「うう所は
大人の遊び方ってのがあから
俺らに任せてよ♡」
(よっしゃ、持ち帰り確定だわ♡)

「うちの嬢様マン♡
キツキツで最高だったわ♡
ほとんど処女だったわw」

「あ…♡ 膣内出し…♡」

「おおお♡ あひ♡」

「うちのバブアマンは
ゆるゆるだったけど
すっげー声で喘ぎまくって
めっちゃエロかったわ♡」

70 IL

70 IL

ド
ロ

ド
ク

♡…♡♡

ド
ク

ヌ
ホ



「おい、もっと股開けや
いい歳こいたババアどもが
とんだ無様な姿だなW」

「くっ…調子に乗るんじゃないよ
あんた達みたいながキ共に
イカされるアタイじゃないよ」

「強がってんじゃないよ
お前らのババアマン」なんざ
俺らのチンポハメまくって
バカにしてやるからよ」

ゴキ
ゴキ

イタ
イタ

プル
プル



「おおおっ♡おほおおっ♡
若いチンポすこい♡ク
奥までささってるっ♡」

「ほら、お世せ
♡おほおおっ♡おほおおっ♡
♡おほおおおっ♡
おほおおおおっ♡」

「んっ♡んおおお♡
んほおおお♡
おほおおおおっ♡
おほおおおおっ♡」

ムク
ムク

プル
プル

ズ
ズ

ズ
ズ

ズ
ズ

ズ
ズ

「あらあら、こんな格好させて人間風情が私に何するつもりなのかしら？」

「ま、大方予想つくけどね♡」

「せいぜいその粗チンで私の」と頑張って墮としてみせなさい♡」

「ハァ♡」

「ハァ♡」

「ムムム」

「ムムム」

「バーカ 何調子にのってんだ肉便器ババアのくせにW誰がお前なんかチンポ入れてやるかよー！」

「おおおっ！ やめっ……」

「これイグウ♡ SKIN♡ やめっ……おはおおおおおお♡」

「やっきの威勢はどっしたよM『♡』しきすぎだぜバズマン♡」

「ズッ」

「グッ」

「ガッ」

「ヒッ」

「ヒッ」

「ヒッ」

「ヒッ」



「ご主人様に言われた通り...
下に何も着てこないで...
城下町を歩いて...
ここにきました!♡」

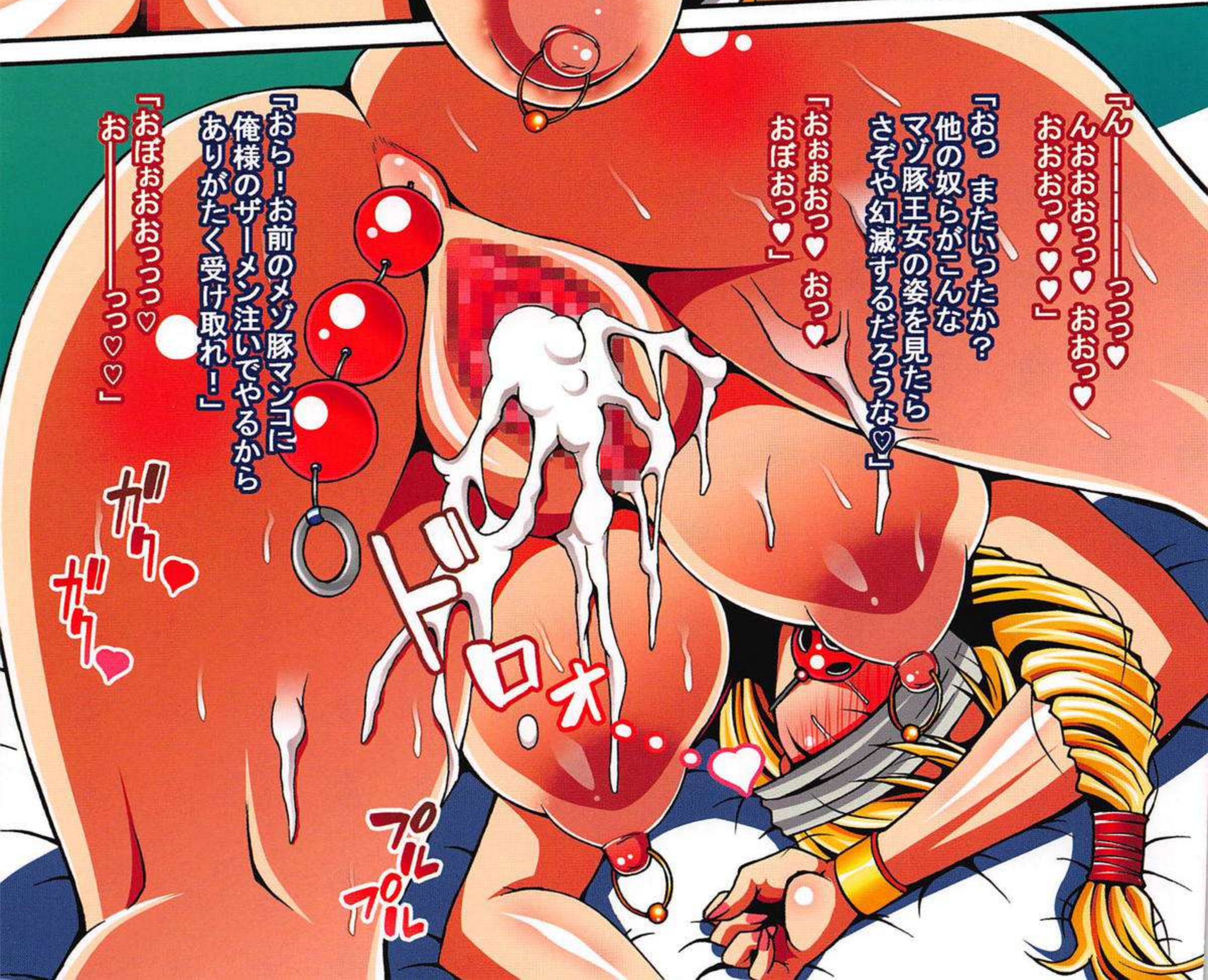
「どうかこの卑しいメス豚に
ご主人様のおチンポで...
たっぷりと種付け
してください!♡」

「そんな恰好して
お城抜け出してまで俺の
チンポが欲しいとはとんだ
変態王女さまだなw
ほら、こっち来いよ
今夜はたっぷり可愛がつてやるわ!♡」

ドキ

ドキ

ドキ



「ん
んおおおっ♡♡♡おおっ♡
おおおっ♡♡♡」

「おっ またいったか?
他の奴らがこんな
マゾ豚王女の姿を見たら
さぞや幻滅するだろうな♡」

「おおおっ♡♡♡おっ♡
おほおっ♡」

「おら!お前のメソ豚マン!」
俺様のザーメン注いでやるから
ありがたく受け取れ!」

「おほおおおっ♡♡♡
おほおおおっ♡♡♡」

ドキ

ドキ

ドキ

「まったく…お前は物覚えが悪い奴だね！そんなにアタイのお仕置き棒で尻叩かれないのかい！」

「本当出来の悪い弟子だねこれが終わったらお前だけ残って特別修行だよ！」



「うあっ…あ♡す♡い♡は…早くそのお仕置き棒…♡アタイのマンコに…奥まで…♡極太お仕置き棒でガンガン叩いてください♡」

「なにが特別修行(笑)だただのチンポ狂いのメス豚ババアのくせにw」

「おほっ♡ちくびっ♡強く引っ張られたらっ♡ひっ♡形かわっちゃうっ♡おおっ♡おっ♡」



ヒッ♡

ハッ

「これから最終試練を始めるわよ
あなた達の実力、存分に
発揮してみなさい♡」

「最後の相手はあたい達だよ
お前たちがどれだけやれるか
楽しみだねえ。修行の成果
しっかり見せてもらおうよ♡」

ビクッ

「おおおっ♡ちんぽす♡
わたしの負けっ♡負けですっ♡」

ちんぽ奥まで届いてるっ♡
やつ♡だめっ♡イゲッ♡
まだいっ♡ちやっ♡
「♡♡♡♡♡」

「おっ♡おおお♡おんっ♡
若いチンポにイカされるっ♡
んおおっ♡ソゴッ♡ソヨイイ♡
あたいの♡まけでいいからっ♡
もっ♡ちんぽおお♡
「♡♡♡♡♡」

ビクッ

「♡♡♡♡♡」

ビクッ

ビクッ

ビクッ

ビクッ



「皆さんお待ちせしました♡
今日は私たちといっばい
セックスしてくださいね♡」

「おおおおおっ
こんな美女たちを
好き放題できるなんて
夢のようだ!」

「おっ...おれ」の子を
ずっと狙ってたんだ!
たっぷり種付けしてやる!」

「きゃっ♡ そんな慌てないで...♡
時間はたっぷりありますから...♡」

ワハハ

ワハハ

ワハハ



「うおっ... またイクっ」

「ああああっ♡
顔にいっぱい出してね♡
全部のませてね♡」

「んほっ♡ んっ...♡
このおちんちんも...
大きくて... 太くて...
とても素敵...です♡」

「おおおっ...
いくら射精しても
全然勃起が治まんわい♡」

「あはんっ♡
こんなにおちんちんいっばい♡
どれも美味しそうで...
わたし...困っちゃいますわあ♡」

「んっ♡ んほっ♡
まったく...♡ いらしゃいませ♡
立派なチンポもおちんちん♡」

ズズ

ワハハ

ワハハ







いかがでしたでしょうか
『即落ち2コマ劇場』
これで終わりとなります♡

皆様のザーメンとても
おいしく頂きました♡

早く…皆様の
おちんちん…♡

んっ♡
いっ♡

ちゅぽっ♡

ちゅぽっ♡

いっ♡

ドキッ
ドキッ

また私たちに
いっぽっ♡

ちゅぽっ♡

ちゅぽっ♡

ちゅぽっ♡

その濃厚なザーメン
たっぷりぶっかけてっ♡
吐き出して下さいね♡

ズッ♡

ズッ♡

また次回
『2コマ即落ち劇場②』で
お会いしましょう♡



2コマ即堕ち劇場

♥アへ顔&仰け反り絶頂♥

【あとがき】
 これを手にとってくださりありがとうございます。
 裏表紙から失礼しますマサ兄です。
 2コマ即堕ち劇場いかがだったでしょうか？
 前々からやりたいネタでしたが、やっと形にできました。
 好評でしたらこれからシリーズ化していきたいと思ひます。

奥付

サークル	ろしまん
作者	マサ兄
	KAZUMA
発行日	2017/12/31
印刷所	スズトウシャドウ印刷様